

Challenge for Challengers !
IYEO第二創業宣言

ABOUT
MANIFESTO
マニフェスト紹介

目次

- 1 マニフェスト概要
- 2 自己紹介（活動歴）
- 3 IYEOの現状と課題の認識
- 4 具体的な打ち手とプロセス

マニフェスト概要



CORE MESSAGE

コアメッセージ 

Challenge for Challengers!

未来に向けて、挑戦している会員や活動G
挑戦したい会員のために、思う存分挑戦でき
る環境、挑戦した分だけやって良かったと
報われる活動や組織を私は作りたい。

IYEO第二創業宣言：マニフェスト

活動・組織・支援のあり方を根本から見直し、
次の世代にとって魅力的な活動と活動基盤を作り、次世代にバトンを渡す

01

若者ファースト

日本青年国際交流機構の名前の通り、青年たちのために活動・存在しているということを明確に打ち出し、若者たちのキャリアや事後活動を第一に考えていきたい。

02

グローバルネットワーク活用

内閣府事業以外にも様々な国際的な取り組みがありますが、海外参加青年を含めたこれだけの国数と参加者数と長年の活動の積み重ねのある団体は類を見ない。その強みや特徴を最大限活かしたい。

03

コレクティブインパクト

会員の専門性や繋がりを活かして、戦略的・集約的に活動を行うことにより、会員のやりがい創出や社会価値共創に繋がっていききたい。

公約：向こう3年間で入会率のV字回復（10-20%→60-70%へ）を目指す！

自己紹介 & 活動歴



PROFILE

私について



NAME

白木 邦貞

PROFESSION

社会起業家（活動家）

CAREER

三重県伊勢市出身。1977年生まれ。青山学院大学卒。

「世界と世代を地域で結ぶ」をコンセプトに若者の地域でのチャレンジを応援する事業やプロジェクトを立ち上げ、自治体やNPO・大学・企業など地域協働型の取り組みを中心に活動している。また内閣府主催「世界青年の船」事業をきっかけにパラレルキャリアとして国際交流や社会貢献活動に長年携わり、グローバル人材育成や社会起業家育成などをテーマとしたプロジェクトやプログラムへも多数参画している。





IYEO活動歴

2005

世界青年の船事業 (SWY18)
参加

2013

三重県IYEO全国大会開催

2014

日韓団副団長

2018

SWY3OSNL (サブナシヨ
ナルリーダー)

2021

東海ブロック幹事就任
コロナ禍で未来創造会議開催

2022

社会貢献チーム立ち上げ
IYEO副会長就任

2023

東海チャレンジャーズサミッ
ト立ち上げ
SWYワーキンググループ発足

2024

長末前会長辞任に伴いIYEO
会長代行就任



STRENGTH

強み



創造力

新しいアイデアを考えることが得意で、常に新しい視点から物事を捉え、解決策や斬新なアプローチを提案可能をしていく

現場力

柔軟性を活かして、さまざまな状況に適応し、スムーズに対応できます。臨機応変に物事を捉え対応することが得意です。

突破力

チームメンバーと協力し、目標達成に向けてやり切ることができます。対話と活動メンバーの成長が重要と考えています。

現状と課題について



IYEOの現状について



- 内閣府事業参加者の入会率低下
→ 直近の入会率10%台
- 地域のIYEOを取り巻く環境の変化
→ 地域における1次選考がなくなる
- 世界青年の船やINDEXなど実践的なプログラムと事後活動の将来
→ 専門性の高い、大規模プログラム
- コロナにおける社会や若者世代の変化
→ オンライン、副業、複数拠点など

今後の方針と重点施策



01 若者ファースト

自分たちの直接つながっている範囲を超えて繋がれる

strong point

事業に参加した直後の青年たちは、国際交流や世界の中で自分の可能性を広げていく楽しさを十二分に感じている。そんな原体験を共有した世界中のOB/OGたちとつながり、内閣府や各国アルムナイ組織とも連携し、さらに自分のキャリアややりたいことが形になっていく、応援してもらえる事後活動組織は魅力十分。

わかりやすく・楽しく・やりがいのある事後活動へ

weak point

従来の都道府県IYEOを中心にした事後活動組織だけが受け皿だと内閣府直轄での広報・選考による事業参加の青年たちにはIYEOは何をしているかわかりにくく、かつ、入る価値がわかりづらい組織と認識されている可能性が高い。



内閣府事業参加直後の青年たちが内閣府事業や各国アルムナイ組織、各地域のアルムナイ組織、各活動グループやワーキンググループで自分たちが関わりやすく、やりがいや楽しさを感じやすいところから事後活動に繋げていくことが重要。

01 若者ファースト

内閣府事業参加直後の若者世代が魅力的に感じるイベントや支援をIYEOが戦略的・計画的に実施し、各活動G（ローカル・グローバル・ソーシャル）や広報・財政とも連携し、公約の実現に向けて会長直下のワーキンググループ（プロジェクトチーム）を発足させ、直近参加青年を中心に若手のやりたい！おもしろい！をどんどん実現させていく

フラグシッププログラム

01 若者世代が集積している大都市圏や政令指定都市などでIYEOのネットワークや会員の専門性などを活かした

グローバル&オフィシャル活動

02 自分の弱点や改善の余地を理解し、新たなアプローチを考えることができます。成長のための新たなチャンスと捉えられます。

キャリアや活動の直接支援

03 自分の行動やパフォーマンスに対する新たな視点を得ることで、自分の強みや課題をより明確に把握できます。

オンボーディングのアップデート

04 他者からの視点を取り入れることで、自己の仕事の強みや改善点を把握し、品質向上のための具体的な行動を取ることができます。

02 グローバルネットワーク活用

船事業の世界的な広がりやアルムナイの層の厚さを活かす

strong point

SWYやSSEAYPの長年の事業実施からなる各国アルムナイの世界的な広がりや長年の活動の積み重ねによるアルムナイの層の厚さやOB・OGの数の多さもさることながらグローバルリーダーとして各国や各分野において重要なポストに就いていたり、影響力を持っているメンバーも多い。

IYEO組織としてのグローバルな活動経験や積み重ねは残念ながらそれほど多くない

weak point

事業別の活動Gは役員がいるが今までそれほどアクティブに活動を実施してこなかった経緯もあり、グローバルなことを事後活動でやる主体や基盤がそれほど育っていない。



日本青年国際交流機構の名前の通り、グローバルな活動やキャリアに興味のある青年たちが長年の活動の積み重ねや世界に広がる内閣府事業のOB・OG、大使館や各国政府、国際組織などオフィシャルなつながりやルートなども活かし、ユニークかつ意義のある活動を作り出していきたい。

02 グローバルネットワーク活用

海外参加青年たちとのつながりやSWYAAやSIなどのグローバルなアルムナイネットワークの活用、そして、日本参加青年の中にも海外在住者や海外のつながりがある会員がたくさんいることを活用する

01 グローバルキャリアや活動支援

世界の中でいろんな挑戦や成長をしたい会員の意欲やニーズを汲み取り、個人ではできないこと、IYEOだからできる支援・活動を考える

02 各国アルムナイとの連携

船事業に限らず各事業に参加した海外青年たちのアルムナイや活動グループと連携・協働し、事業後の事後活動やキャリアをサポート

03 海外在住の日本人の存在

海外にゆかりや拠点のある日本参加青年たちのつながりや専門性を活かしたワールドワイドな特色のある活動（カンファレンス、スタディーツアー、ホームステイなど）の実現

04 国際的な活動がある他団体との連携

JICAやトビタテ留学JAPANなど国が関係したプログラムOB・OGやNGOなどと連携し、若者たちのキャリアや活動を幅広く支援していける体制を作りたい

03 コレクティブインパクト

社会貢献活動に対するニーズの高まりや内閣府事業との相乗効果が期待できる *strong point*

地域コアリーダー事業の出身者をはじめ、IYEOにはソーシャルな領域の高い専門性や関心を持った会員が多数在籍しており、また近年のSWYの地域実践活動など内閣府事業もテーマ性の高いプログラム内容や事後活動が期待されている。

IYEO内の活動グループ・他団体との連携・協働・共創は発展途上 *weak point*

同窓会としての交流や内閣府事業と連携した広報活動や地方プログラムの受け入れなどが従来のIYEOの事後活動としてのスタンダードであったが、社会課題解決や価値共創に向けて連携・協働するなどの動きは特定の会員や活動グループに限定されていた。次世代の活動のあり方として、若手を中心に社会性の高い活動を加速させていきたい。



ソーシャルインパクトをコレクティブ（協働・共創）に創り出すことは、多様な会員が自主的・主体的に活動しているIYEOのコミュニティと相性がいいと考え、個々の活動の連携・協働を促進・加速させていく

03 コレクティブインパクト

——— 社会課題解決や価値共創に向けて、アウトカム（成果）やインパクトに着目し、戦略的に長期的に社会にとっても会員にとっても本当に意義のある活動を創出したい

01 テーマ別活動グループの支援

環境や教育、多文化共生など社会課題やテーマに基づいた活動や交流を支援する体制構築を目指します。

02 他団体連携・共創パートナー

会員が代表を務めたり、影響力のある団体や活動グループと積極的に情報共有・連携し、会員のキャリアや活動を支援する体制を目指します。

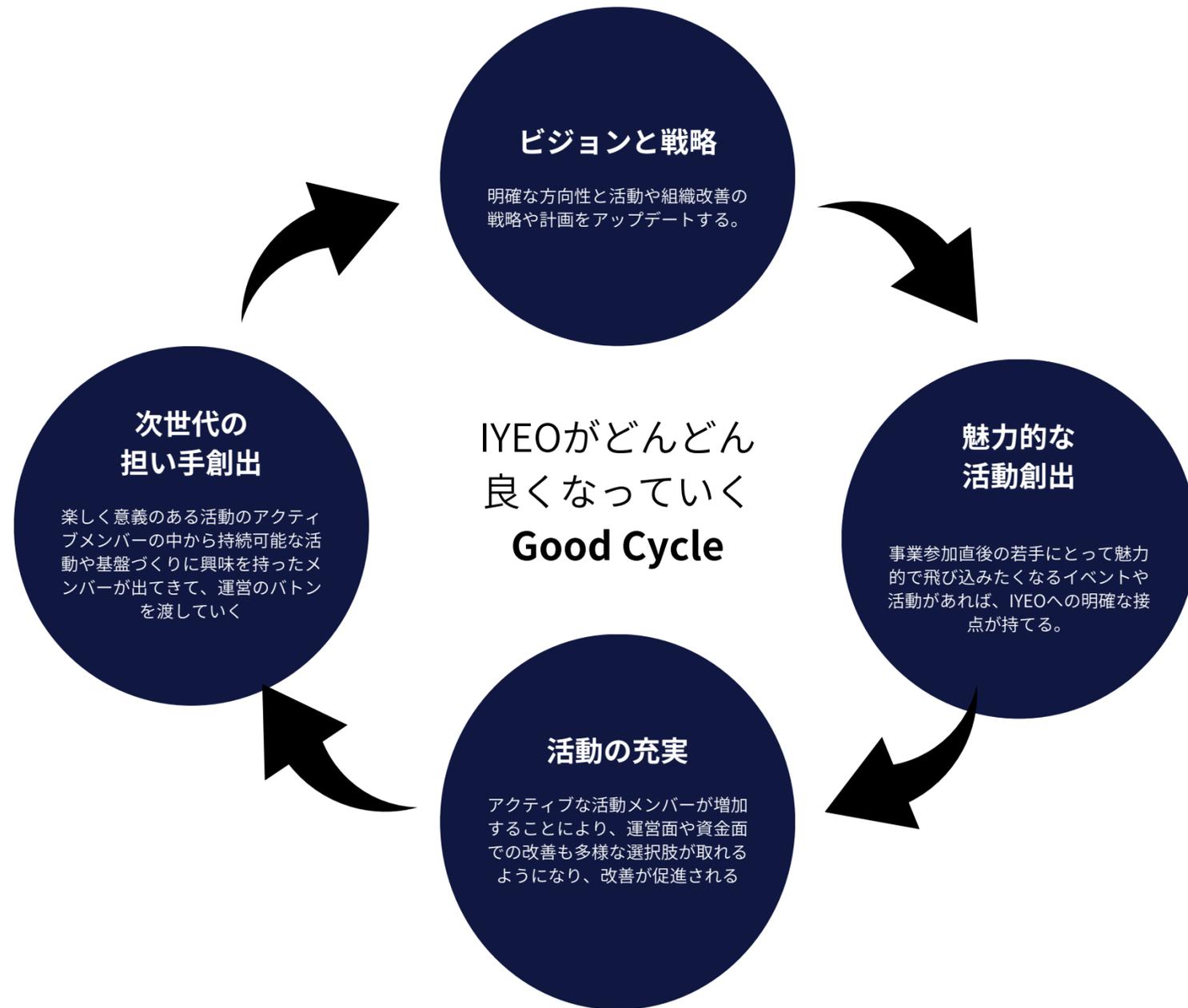
03 価値の見える化

会員の専門性や社会における役割やつながり（社会関係資本：ソーシャルキャピタル）や活動から生まれた価値（アウトカムやインパクト）を見える化し、活用します。

04 社会性のある活動への支援メニュー拡充

都道府県IYEOにおける活動奨励金のようにアクションを加速させる使い勝手のいい支援やチャレンジファンドの抜本的改革など

マニフェスト & 施策案まとめ



最後に

事後活動に対する展望や戦略・計画、コンセプトを明確にすることによって魅力的な活動を作り出そうという機運が生まれ、魅力的な活動からアクティブメンバーや担い手が創出され、組織基盤が若手世代のやりやすい形にアップデートし、バトンを次に継承する。

THANK YOU

ご清聴ありがとうございました

